

03 特別会計

全会計で黒字に

特別会計は一般会計と区分し、特定収入と支出で経理を行う会計です。令和3年度は全ての特別会計で、安定的な運営がされており、黒字決算となりました。

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	14億 2,577	14億 1,749	828
後期高齢者医療	1億 8,959	1億 8,942	17
介護保険	14億 5,829	14億 1,402	4,427
臨海部土地造成事業	39	39	0
下水道事業	13億 747	13億 736	11
簡易水道事業	1,997	1,994	3

04 水道事業会計・企業債

黒字経営を継続・借金残高は約2億3千万円

水道事業会計

水道事業は、税金でまかなわれている一般の行政サービスと異なり、水道施設の建設や維持管理に必要な経費のほとんどを経営に伴う収入である水道料金でまかなう「独立採算性の原則」で運営されています。

●収益的収支
…水道水の供給、汚水の適切な処理に必要な財源と経費

収入	支出	差引利益
2億 7,840	2億 3,390	4,450

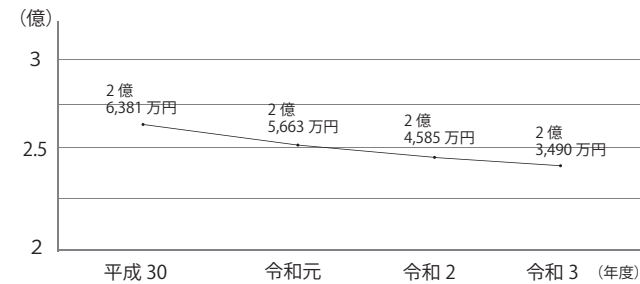
●資本的収支
…水道・下水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費

収入	支出	差引利益
240	6,501	△ 6,261

※水道会計の不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、積立金、留保資金で補填しました。

企業債

企業債は、水道事業会計(企業会計)の「借金」です。この企業債で、送・排水管の新設や移設、施設の整備などを行っています。また、この企業債の償還は、主に収益的収支決算で出た利益を利用し返済しています。



企業債の残高は昭和63年度の約28億円をピークに徐々に減少し、令和3年度末の残高は2億3,490万円です。

05 健全化判断比率・資金不足比率

早期健全化基準などはすべてクリア・資金不足はナシ

健全化判断比率

実質的な赤字や将来負担などに係る指標「健全化判断比率」をお知らせします。浦河町はどの指標も基準を下回っています。

健全化判断基準	3年度	基準	
		早期健全化	財政再生
実質赤字比率	—	14.54%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.54%	30.00
実質公債費比率	10.3%	25.0%	35.0
将来負担比率	17.9%	350%	—

健全化判断比率…財政の健全度を表すもの
 実質赤字比率…普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率
 連結実質赤字比率…すべての会計赤字から財政運営の深刻度をみる比率
 実質公債費比率…町の収入に対する借金返済の割合をみる比率
 将来負担比率…町が将来、支払う負債の収入に対する比率

資金不足比率

公営企業ごとの資金不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示します。浦河町は水道事業会計で資金不足はありません。

企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
実質赤字比率	—	20.00%

資金不足比率…企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる割合。

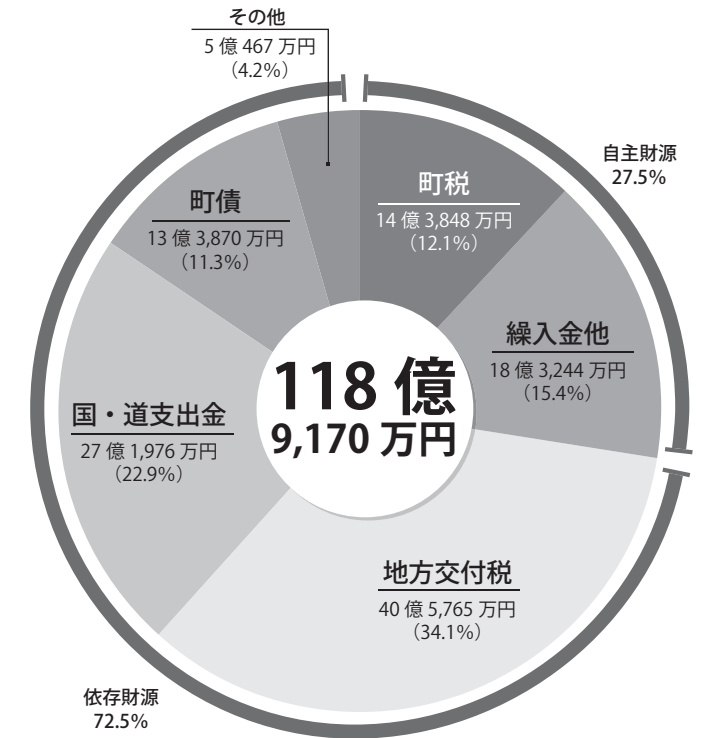
令和3年度 決・算・報・告

令和3年度の決算が11月の町議会で承認されました。町政は町民の皆さんや企業から納められた税金や、国庫支出金などをもとに運営されています。今月号では、実施した主な事業や決算の概要、財政状況をお知らせします。

01 一般会計

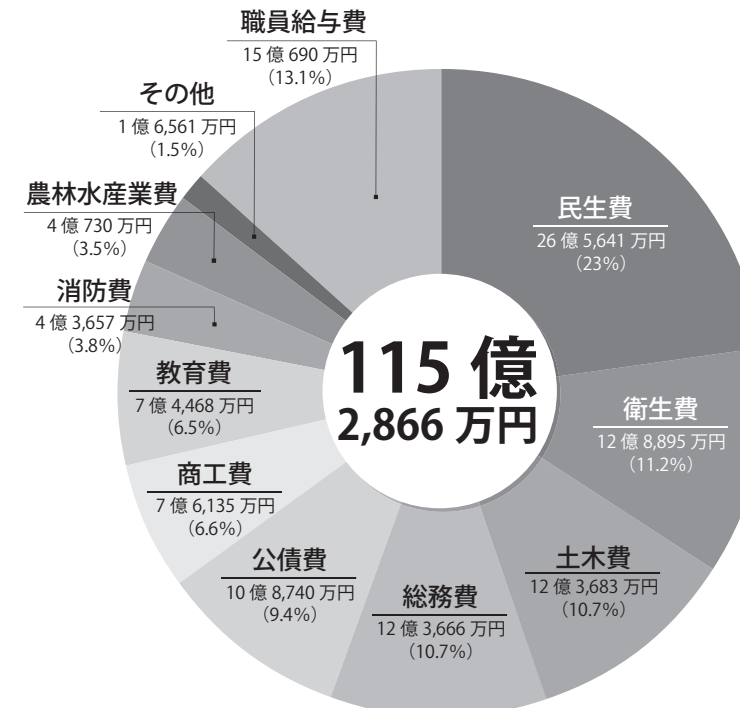
歳入

自主財源	… 町が自主的に収入できるお金。町税など
依存財源	… 国や道の決定により交付される収入。補助金や地方交付税など
町税	… 町民の皆さんが町に納める税金。町民税、固定資産税、軽自動車税などがある
繰入金他	… ここでは繰入金の他、諸収入、分担金及び負担金、寄附金などを含む
地方交付税	… どの自治体でも一定の行政サービスが行えるように、国から交付されるお金
国・道支出金	… 町が行う事業に対し、必要性に応じて国や道から交付されるお金
町債	… 財政負担の平準化や世代間の負担の公平性などを図るため、国などから借りたお金
その他	… 地方消費税交付金など、町の規模などに応じて交付されるお金



02 一般会計

歳出



民生費	… 高齢者や障がい者、児童の福祉サービスの提供などの費用
衛生費	… 町民の健康増進や、ごみの処理などの費用
土木費	… 道路橋梁や公共施設の整備や維持管理の費用
総務費	… 総務管理、企画調整、地域振興、税務事務などの費用
公債費	… 町の借入金の返済の費用
商工費	… 商工業や観光の振興の費用
教育費	… 小中学校などの管理運営や施設整備、生涯学習の推進などの費用
消防費	… 地域の防災力向上の他、広域消防の負担金など
農林水産業費	… 農業、漁業、畜産業の振興などの費用
職員給与費	… 職員に対して支給される給料及び扶養手当などの諸手当に要する費用
その他	… ここでは議会費、労働費、災害復旧費などを含める

ふるさと納税

寄附金の使い道

令和3年度も多くの方からご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。皆様からの寄附金は、お選びいただいた「寄附金の使い道」に基づき、まちの施策へ有効活用しています。

詳細な寄附実績および事業報告については、浦河町ホームページで公表いたしますので、ご覧ください。

子どもたちが元気に健やかに育つための事業

子育て環境の整備



子育て支援（木育事業）
充当額：2,000 千円

教育の充実



小中学校 ICT 学習環境整備事業
充当額：20,300 千円

企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対し、企業の皆様から積極的な寄附を行っていただけるよう、平成28年度の税制改正において、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）が創設されました。

浦河町では、この制度を活用して将来にわたって活力と魅力ある地域として発展し、町民が夢や希望を持ち幸福と充実を感じ、生涯を通じてこの町で暮らしていきたいと思うまちを目指します。

- ①競争力のある産業振興による活力あるまちづくり事業
- ②潜在価値と魅力を活かした選ばれるまちづくり事業（映画「北の流水」（仮題）広域連携製作事業）
- ③子育て世代を支える優しいまちづくり事業
- ④安心と連携で支えるまちづくり事業

令和3年度寄附額 1,200 千円

その他目的達成のため町長が必要と認める事業

乗馬療育事業



乗馬療育事業
充当額：17,000 千円

産業の振興・活性化・福祉・医療 健康・生きがいづくりなど

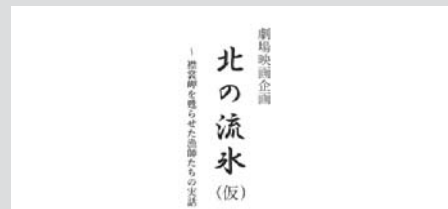


タコ・ツブ産卵礁投入事業
充当額：2,000 千円



浦河産いちご、牛肉等の学校給食への提供 充当額：800 千円

映画「北の流水」（仮題）製作実現



映画製作準備委員会では、映画「北の流水」（仮題）の製作に向け、皆様のご支援をお願いしております。引き続き、企業版・個人版ともにふるさと納税を募集しておりますので、ぜひご協力ください!!

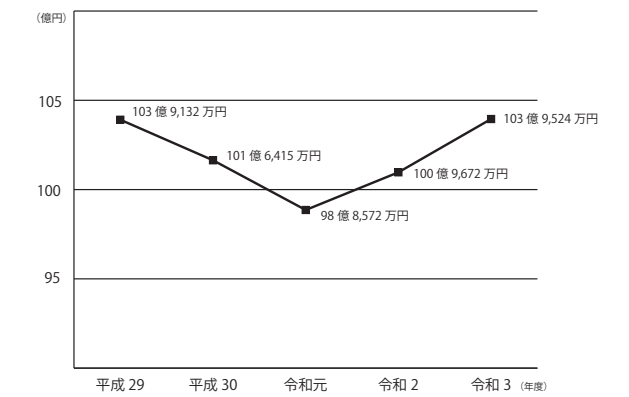
06 町債

町の借金残高 103 億 9,524 万円

町債は大きな事業をするために借り入れるお金のことで、整備した社会資本を今後利用する人たちにも公平に負担してもらうための役割も担っています。

令和2年度より増額していますが、これはクリーンプラザの延命化工事事業や、木質バイオマス設備工事などの大型公共事業を行ったため増額となっています。

●町債残高の推移



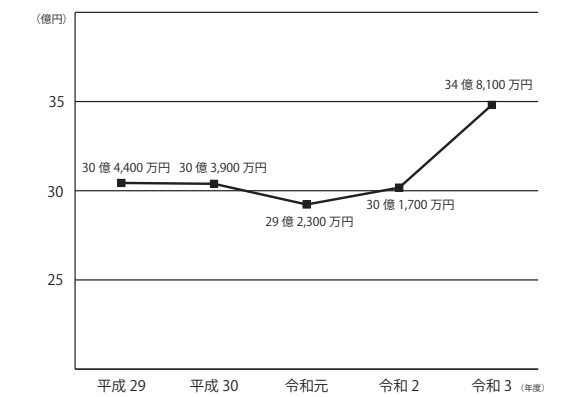
07 基金

町の貯金残高は約 35 億円

基金は歳入から歳出を引いて残っている金額があった場合に積み立てし、臨時の出費や財源不足が見込まれる場合に取崩して事業費に充てます。

令和3年度は主に普通交付税の増額分を将来の公共施設整備に備え、前年から約5億円を積み立てました。

●基金残高の推移



令和3年度の主な事業



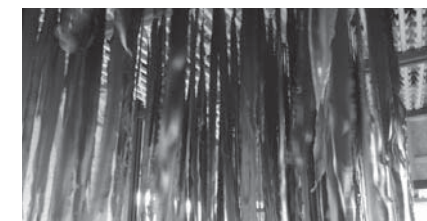
荻伏B団地建替事業
事業費：8,932 万円



クリーンプラザ延命化事業
事業費：3 億 3,018 万円



浄化し尿センターし尿受入施設建設事業
事業費：1 億 6,898 万円



昆布乾燥機共同利用施設導入事業補助
事業費：5,210 万円



製氷・貯水設備整備事業補助
事業費：1,550 万円



優駿の里公園多目的広場人工芝整備事業
事業費：1 億 9,782 万円



町道栄丘東通1号線改良事業
事業費：7,909 万円



ファミリースポーツセンター改修事業
事業費：924 万円（改修基本設計）



校務支援システム導入事業
事業費：385 万円